油津キャナルマルシェ

俳句・短歌
歴代入賞作品

2016～

ABURATSU
キャナルマルシェ

2016年

俳句

小学生の部

一席

夏まつりうんがにうかぶ大花火

福山　瑚乃杷

二席

海水浴飛魚みたいな子どもたち

宮田　佳南

三席

風さん（熊本に笑顔送ってね

湯地　愛

2016年

俳句

一般・中学生の部

一席

漆黒の水面を滑り咲く花火

松田　美月

二席

ちょろ船の帆に春風の隠れおり

木村　亘陽

三席

遠き日や弁甲いかだ夕焼雲

井上　頼子

2017年

俳句

小学生の部

一席

春の風　水面にうつる　チョロ舟の影

阪元　砂帆

二席

港祭り　花火いっぱい　満開だ

川畑　永芯

三席

油津港　いつもカツオが　たくさんだ

和場　大輝

2017年

俳句

中学生の部

一席

ほりかわに　まうさくらばな　みなもえむ

加力　進太朗

二席

チョロ舟に　桜の花びら　舞い落ちる

中田　雄也

三席

堀川を　春色にそめ　風のゆく

齋藤　有生

2017年

俳句

一般の部

一席

暖かや　母娘まどろむ　夢ひろば

近藤　國法

二席

囀りの　吾平津姫に　降りしきる

藤井　千津子

三席

恋の猫　海岸通りの　レンガ館

山田　裕章

2018年

俳句

小学生・中学生の部

一席

たんぽぽに　堀川運河　かこまれる

宮川　夕夏

二席

チョロ舟に　乗ってかんじる　春の風

谷　来夢

三席

潮風に　ゆれる錦や　こいのぼり

木佐貫　みそら

2018年

俳句

一般の部

一席

初恋は　運河の辺り　夏隣

河野　正

二席

手を取りて　港花火の　老いふたり

近藤　國法

三席

堀川の　筏黒々　梅雨に入る

荘子　隆

2019年

俳句

小学生・中学生の部

一席

夢見橋　耳に聞こえる　セミの声

三田　莉乃嘉

二席

れんげ草　坂元棚田　咲き誇る

中村　健志

三席

太平洋　もどりがつおが　帰ったよ

福元　聡真

2019年

俳句

一般の部

一席

海岸の　大綱引きや　月祭る

山田　裕章

二席

夕涼や　堀川橋の　下駄の音

近藤　國法

三席

春驟雨　弁甲筏に　波高し

荘子　隆

2020年

俳句

小学生・中学生の部

一席
夏の空ポカンと浮かぶ三角形
脇元　亮汰

二席
初日の出毎年おがむななつばえ
黒木　康生

三席
飫肥杉がまっすぐきれいのびている
山下　季杏

三席
夏休み川に行ってはダイビング
高山　奏賜

短歌

2016年

小学生の部

一席

ゆめひろばあそんでみたいな日南じゃさまと
海山さちのみているそばで

緒方　稟奈

二席

かわからねきれいなおとがきこえるよ
どんどんどんどんながれていくよ

酒井　彩花

三席

油津の港に来る船マンションみたい
お祭りさわぎで歓迎だ

小田　泰生

短歌

2016年

一般・中学生の部

一席

小雨降る堀川運河をかきわけてポチャリ
ポチャント進むチョロ船

大塚　一樹

二席

カラスたちうみをながめて日を浴びて
ポールに乗って考えている

谷　健太郎

三席

昼下がり夢見橋から花珊筏を指して
ほほえむ老夫婦あり

又木　康子

短歌

2017年

小学生・中学生の部

一席

夢見橋そーっとのぞくとつばめの子
母をよんでる大きな声で

松浦　莉夢

二席

車乗り油津港横通るとき
旗が手を振るパタパタパタと

外山　絢野

三席

朝一に船の中からカツオがね
潮の香りと水揚げされる

清　妃花

短歌

2017年

一般の部

一席

初凪の灘行く大型旅客船
猪崎鼻を掠めて油津港をめざす

松田　惟怒

二席

夕焼けて煌めき揺らぐ堀川の
光の中へ少女溶けゆく

近藤　國法

三席

古宮に吾平津媛の祈り聞き
万古の縁描く黄昏

近藤　剛康

短歌

2018年

小学生・中学生の部

一席　うまれたよ夜の海から赤ちゃんが
あかあかと光る月の赤ちゃん
平部　更紗

二席　かいがんに赤いひとでがしずんでる
きれいな星の形をしてる
土田　陽仁

三席　海原に大きな夢をたくすぼく
かもめのように心おどらせ
山元　琉仁

三席　春風が飫肥杉揺らす午後の山
のんびり遊ぶ我も春風
甲斐　脩斗

短歌

2018年

一般の部

一席

呆けたる母の話のむかしむかし
夢広場には弁甲の山

多田野　順子

二席

堀川の川面に揺らぐ街灯に
朧の酔ひの心遊ばす

松田　惟怒

三席

主催するイベントに雨空仰ぐ
若者三人銀天街に

又木　康子

短歌

2019年

小学生・中学生の部

一席　モアイぞうふりむいて見てよ海の青
海の大きさにびっくりするから
横道　玄

二席　堀川の流れにただようこのはぶね
昔の日々のちょろぶね思う
伊地知　洸大

三席　春風が飫肥杉揺らす午後の山
のんびり遊ぶ我も春風
甲斐　脩斗

三席　飫肥杉の温もり感じ思い出す
優しくなでる母の温もり
稲元　清春

短歌

2019年

一般の部

一席
好きだった気持ちを捨てるために
今運玉一つ投げ入れました
小畑　香南子

二席
流鏑馬の飫肥城門へ駆け抜ける
一瞬の風に馬がにほへり
清水　しづ子

三席
曇天の鈍色映す堀川の
水面弾くや軽雨かハヤか
田中　理恵

短歌

2020年

小学生・中学生の部

一席　浜辺での波打ち際のスイカ割
どこにあるのかかおりをたよりに
岩﨑　優実

二席　冬の夜きらきら光る町並みに
とってもきれいな堀川運河
黒木　悠生

三席　魚釣りうきがしずんでういてきた
「早くしずめ」と魚の心をうらむ僕
井上　聖里

油津キャナルマルシェ実行委員会

https://aburatsu-canal.jimdofree.com/